

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標3_経済・雇用】

施策 3-6_林業の振興

基本計画		事業番号	細事業名称
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06104_01	東予流域林業活性化推進事業
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06195_01	森林環境保全整備事業補助金
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06268_01	森林経営管理事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06041_01	森林居住環境整備事業(森林基幹道開設事業)
3-06-02	林業生産基盤の整備	06183_01	林道保土野線開設事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06183_04	林道豊後線開設事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06242_01	林道維持管理事業補助金
3-06-02	林業生産基盤の整備	06255_01	別子山地区森林整備事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06270_01	林道施設長寿命化事業

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	06104_01		
事業名(行目名称)		東予流域林業活性化推進費	細事業名	東予流域林業活性化推進事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者(森林組合組合員:新居浜市)		数値	588人		
	手段(どうやって)	東予流域林業活性化センターの活動経費の負担。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	東予流域内の林業活性化の基本方針を検討するとともに、流域内の具体的な取り組みを総合的、計画的に推進することにより、多様な森林の整備、林業生産活動の活性化、産地形成等を図る。各種研修を通じて森林組合の職員のスキルアップをすることで、施業区域の拡大を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 1,240千円	
経費		1,740	1,240	1,240	1,240		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,740	1,240	1,240	1,240		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
林業活性化対策事業数		目標値	4	5	5	5	5
		実績	4	4	4	4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
東予流域内の林業活性化に向けて事業を実施しているが、施業地域の確保に苦慮している。引き続き県及び、東予3市及び2森林組合等と連絡を密にしながら、施業確保に努めていく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
東予流域林業活性化センターについて、翌年度も引き続き東予3市による広域的な事業を展開するため、現状を維持する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
林業の担い手確保や作業道補修に関する事業については一定の効果が認められ、東予3市と森林組合が協働して推進していくことが必要である。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	06195_01		
事業名(行目名称)		森林環境保全整備事業費	細事業名	森林環境保全整備事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者(森林組合組合員:新居浜市)		数値	588人		
	手段(どうやって)	森林組合が国県の補助を受けて実施する間伐、下刈等の造林補助事業に対して上乗せ補助を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	間伐等の森林整備を適正に実施することにより、将来の木材生産における優良材を育てるとともに、国土の保全・水源かん養・自然環境の保全・地球温暖化防止等の公益的機能の高度発揮を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 3,504千円	
経費		2,895	3,504	3,504	3,105		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		700	700			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	2,895	2,804	2,804	3,105		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
森林整備面積(搬出間伐等) ha		目標値	40	40	40	40	40
		実績	18.04	20.27	0	23.0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
森林の持つ公益的機能を発揮するためには、継続的な森林整備は必要であり、森林資源の活用による林業および地域経済の活性化の面においても搬出間伐等の森林整備は必要である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
森林の持つ公益的機能を発揮するためには、継続的な森林整備は必要であり、森林資源の活用による林業および地域経済の活性化の面においても搬出間伐等の森林整備は必要であるため、森林整備を行ういしづち森林組合に対して継続して補助を行う。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
森林の持つ公益的機能を発揮するためには、継続した森林整備が必要である。また、森林資源の活用による林業および地域経済の活性化の面においても、搬出間伐等の森林整備は必要である。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	06268_01		
事業名(行目名称)		森林経営管理事業費	細事業名	森林経営管理事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	民有林のうち人口林		数値	約600ha		
	手段(どうやって)	市内の森林所有者に対して意向調査を実施し、市に森林の管理を委託希望する場合は、市と森林所有者が協定を締結し、市が間伐等を実施していく。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	放置され荒廃した民有林を市が整備することで、森林の持つ多面的機能を十分に発揮させる。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		8,853	4,141	4,141	2,929	○需用費 10千円 ○役務費 17千円 ○委託料 4,111千円 ○使用料及び賃借料 3千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	8,853	4,141	4,141	2,929		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
現地調査面積(ha)		目標値	8	6	5	5	5
		実績	10.64	4.35	0	4.01	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
森林所有者による管理が行き届いていない森林が多くあるが、未国調森林が大半のため、森林整備を推進していくことが困難なケースが数多くある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
国から令和15年頃までに、意向調査を完了させ、森林整備を推進するように指導されているため、今後も計画的に事業を推進していく。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
現地調査結果をもとに、森林所有者と市とで森林の管理方法について検討し、今後の管理計画を記した「経営管理権集積計画」を定めることができた。また市の管理山林の一部について切捨て間伐を実施し、適切な森林整備を実施することができた。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	06041_01		
事業名(行目名称)		森林居住環境整備事業	細事業名	森林居住環境整備事業(森林基幹道開設事業)			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者(森林組合組合員)		数値	2,824人		
	手段(どうやって)	県営林道整備事業に対して、事業費の10%を負担する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	本基幹道は、新居浜・西条市の山間部に散在する集落及び林道・林業団地・森林景勝地等を選び林業労働力を有効に活用しつつ、広域化・組織化による生産性の向上と森林レクリエーションの機能発揮を図るほか地域の振興を図る。また、森林の持つ地球温暖化防止等の環境保全のため、利用区域内の森林の健全な森林整備を積極的に行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 21,000千円	
経費		15,292	21,000	21,000	17,154		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	8,300	13,500	13,500	4,600		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	6,992	7,500	7,500	12,554		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
林道利用区域森林整備面積(ha)		目標値	7	7	7	7	7
		実績	4.625	24.729 24.729	0	32.68	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
現在3工区(小味地西、小味地東、角野)について、開設事業実施中である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
森林の持つ地球温暖化防止等の環境保全に寄与する公益的機能を十分発揮させ、また災害防止の観点からも、県の森林基幹道開設に対する負担金支出及び条件整備等について、継続実施する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
林道の開設工事が予定通り進み、林道沿線の森林整備に寄与することができた。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	06183_01		
事業名(行目名称)		別子山地区林道等開設事業	細事業名	林道保土野線開設事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全体計画延長	数値	4,000m			
	手段(どうやって)	環境や生態系に配慮しながら低コストで安全な林道を整備し、林道整備による効果が最大限に発揮されるとともに、作業路等の整備により林道の利用が一層促進されるよう事業を推進する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	事業開始時においては、従事者の高齢化等により山林は荒廃しつつあるため、林道網整備が急務となっている。林道網整備を行う事により、大型林業機械の導入や作業路の整備などを促進し、施業の集約化によるコストの削減や間伐材の搬出・有効利用により林家の所得の向上、担い手の確保を行い、森林資源の適正な管理を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○工事請負費 18,000千円	
経費		0	18,000	18,000	18,000		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	18,000	18,000	18,000		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
開設延長(m)		目標値	0	83	0	70	91
		実績	0	89.1	0	48	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
予定どおり工事を発注し、開設工事に着手している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
森林資源の適正な管理、活用を促進するために、予算を拡大して林道整備を推進する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
設計の見直し等により、開設延長は目標値には届かなかったが、全体的には概ね順調に進捗している。							
事中評価	作成担当者	近藤 民雄	最終評価責任者	菅 裕二			
事後評価	作成担当者	近藤 民雄	最終評価責任者	菅 裕二			

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	06183_04		
事業名(行目名称)		別子山地区林道等開設事業	細事業名	林道豊後線開設事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全体計画延長	数値	2,500m			
	手段(どうやって)	環境や生態系に配慮しながら低コストで安全な林道を整備し、林道整備による効果が最大限に発揮されるとともに、作業路網の整備により林道の利用が一層促進されるよう事業を推進する。 令和5年度から令和7年度の期間は、供用区間において、台風等の大雨時に路面が洗掘され通行不能となることから、林道開設を中断し路面の改良工事を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	事業開始時においては、従事者の高齢化等により山林は荒廃しつつあるため、林道網の整備が急務となっている。林道網整備を行う事により、大型林業機械の導入や作業路網の整備などを促進し、施業の集約化によるコストの削減や間伐材の搬出・有効利用により林家の所得の向上、担い手の確保を行い、森林資源の適正な管理を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		5,000	22,000	22,000	11,000	○工事請負費 22,000千円	
財源	県・国支出金	2,500	11,000	11,000	5,500		
	地方債	2,500	11,000	11,000	5,500		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
路面改良進捗率(%)		目標値		14.3	0	77.1	100
		実績		14.3	0	45.7	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
財源となる県補助金の内示が要望額の50%であったため、今年度の進捗率も計画の50%となる。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
来年度は、今年度の積み残し分を含めて予算要求を行う。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
財源となる県補助金の内示減により計画どおり進捗しなかったが、一定程度路面改良を行うことができ、実施区間において大雨時の路面洗掘を防止することができた。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	06242_01		
事業名(行目名称)		林道維持管理事業費	細事業名	林道維持管理事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者及び地域住民(延べ人数)		数値	69588		
	手段(どうやって)	森林組合が、市民の利用が多く生活道的な森林組合林道において実施する雑草刈り、側溝整備などの林道維持管理事業に対し、補助を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	森林組合が管理する林道のうち、市民の利用が多く生活道的な林道の維持管理を行い、林道使用車両及び市民の通行等の安全を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,312	1,312	1,312	1,312	○負担金補助及び交付金 1,312千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,312	1,312	1,312	1,312		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
補助対象路線利用区域森林整備面積			目標値	40	40	40	40
			実績	7.81	24.68	41.7	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
補助金対象の11路線について、順次作業を実施している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
森林組合管理林道のうち市民の利用が多く生活道的な側面を持つ林道において、森林整備の推進のみならず、林業用車両、一般車両、地域住民の通行の安全を確保する必要があるため、今後においても補助規模・要件等について事業実施主体と協議・検討しながら事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
市民の利用が多く生活道的な森林組合林道において実施する雑草刈り、側溝整備などの林道維持管理においては、実施できた。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	06255_01			
事業名(行目名称)		別子山地区森林整備事業	細事業名	別子山地区森林整備事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興				
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区市有林・銅山川北側面積(ha)		数値	1000			
	手段(どうやって)	接道状況のない銅山川北側の市有林について、隣接する住友林業社有林内の私設林道から新規の森林作業道を連結、延長し3年度間で市有林内へ到達させる。市有林到達後の4年度目からは、森林作業道開設と並行して市有林内の搬出間伐に着手する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	間伐等の適切な森林管理により、自然環境保全、水源涵養、土砂流失防備等の森林機能発揮を図り、森林所有者の責務を果たす。また、搬出材の有効活用(地域内木材加工センターへ搬入)により雇用の創出、地域活性化に繋げる。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		46,046	62,733	62,733	57,094	○役務費 1,985千円 ○委託料 49,293千円 ○負担金補助及び交付金 11,455千円		
財源	県・国支出金	6,278	7,109	7,109	7,432			
	地方債	8,300	8,500	8,500	8,100			
	その他	23,868	31,906	31,906	26,936			
	一般財源	7,600	15,218	15,218	14,626			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
森林作業道の改良・新規開設延長(m)			目標値	1000	600	600	600	600
			実績	1050	600	100	100	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
基幹道となる森林作業道は今年度開設計画の延長600mが予定どおり完了しており、現在は搬出間伐に取り掛かっている。現地作業は年内の完了を見込んでおり、搬出されるヒノキ間伐材の一部は別子木材センターへ搬入し、主に住宅用建築資材(集成材)として活用予定。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
台風等の自然災害も発生せず、基幹道の開設は順調に進んでいる。また、開設した基幹道を活用した搬出間伐も令和4年度から取り組んでおり、間伐材の一部は別子木材センターで有効活用がなされており、翌年度以降も計画的に本事業を推進する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和6年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
市有林内からの搬出間伐(9.97ha)を実施し、計画どおりに森林作業道の新規開設(市有林内100m)及び既設作業道の損傷箇所を改良を実施した。								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	06270_01		
事業名(行目名称)		林道施設長寿命化事業	細事業名	林道施設長寿命化事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市管理の林道橋	数値	橋梁数N=6橋			
	手段(どうやって)	令和2年度に策定した新居浜市林道施設長寿命化計画(個別施設計画)に基づき、定期的な点検・診断及び補修・更新を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	予防保全型維持管理の考え方を導入し、必要な補修や機能強化を行うことで本市林道橋の健全度Ⅱ以上の状態を確保して、通行の安全確保と施設の延命化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 3,400千円	
経費		7,625	3,400	3,400	2,750		
財源	県・国支出金	4,193	1,870	1,870	1,512		
	地方債	3,400	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	32	1,530	1,530	1,238		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
健全度Ⅱ以上の林道橋数		目標値	5	6	6	6	6
		実績	5	6	0	6	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新居浜市林道施設長寿命化計画に基づき、林道橋の定期点検を実施している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
今年度実施している定期点検の結果により、令和7年度に林道橋の補修計画を立て令和8年度から補修工事を実施する予定であり、来年度は事業を休止する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
新居浜市林道施設長寿命化計画に基づく林道橋の定期点検を実施し、各橋梁の健全度の確認を行い、通行の安全確保を図ることができた。							

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値		
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				